

共働きの子育て日記

脇田 智晴

WAKITA Tomoharu

(株)イセキ開発工機
国際部



2014年7月号でハネムーン記事を執筆してから3年経ちました。2016年2月には、我が家に元気な男の子が生まれ、晴仁（はるひと）と名づけました。大きな病気もなくすくすくと育ってくれ、妻の職場復帰に伴い今年の4月から保育園に通うことになりました。今回は、共働き夫婦における「イマドキ子育て生活」がどういったものかを皆さんにお伝えしたいと思います。

朝6時、まずは夫婦だけ起床します。女性は朝の準備に男性の数倍はかかるため、妻は洗面所に、私はキッチンへ向かい晴仁の朝ごはんの準備。一歳半になった晴仁は現在スイカがお気に入りなので、食べやすいサイズに切り、種を取ってやります。冷凍しておいたご飯を温め、週末に作った鮭ソボロと混ぜ合わせて、ミニおにぎりを作ります。海苔も大きいと子供は食べきれないので、細かく調理用はさみでチョキチョキ。あとは、味噌汁、週末に作り置きしたおかず、カニカマを子供用プレートに盛り付けて完成。その間、私もつまみ食いしながら簡単な朝食を済ませます。

6時半、そろそろ晴仁を起こしに行きます。寝ぼけ眼の晴仁を子供用のイスに座らせ、まずはスイカを出します。眠い目をこすりながら、晴仁は無言で

スイカに手を伸ばし、ものすごい勢いでスイカを口に放り込みます。スイカを食べきってから、次はカニカマ、味噌汁のお豆腐、ミニおにぎりの順に手を伸ばします。調子がよければ完食するし、悪ければ食べ物で遊んだり、フォーク・スプーンを床に落としたりします。そのうち、踏ん張っている表情を見せ、なんとなく「う」のにおいがしてきます。晴仁は現在ところん状態で、朝ごはんを食べるとそのまま排泄される体内システムになっており、わが子ながら素晴らしいシステムと両親は感心しています。さておむつの交換ですが、まずは息を止めながらオープン。晴仁の体調が良すぎると、運悪く漏れ出てしまい大災害が発生します。二次災害が発生しないように服を慎重に脱がし、風呂場に連れていって晴仁の身体を洗い、汚れた洋服は洗面所で洗います。

さて、身体を綺麗にしたら洋服を着させます。ここで最もドキドキする朝のイベントを迎えます。それは体温チェックです。保育園は38度を超えると預かってくれないので、私か妻が会社を休まざるを得なくなります。運よく義両親の都合が合えば預かってもらえますが、そうでない場合は夫婦のどちらかで面倒をみます。基本的には妻に休んでもらっていますが、一旦熱が出ると一日で熱が下がりきることがないので、次の日は私が休みをもらったりします。妻の会社も当社も我々の状況を理解していただいており、大変ありがたいです。熱がなく元気なことを確認したら、歯ブラシタイムです。嫌がる晴仁を捕まえて、無理やり歯ブラシをしてあげます。妻とかわりばんこに晴仁をあやしながら、大人の準備を急ぎます。

7時50分には何とか準備を終えて、夫婦で保育園に出発。保育園は家から約徒歩5分のところにあります。3歳未満の子供ばかり18名の園で、近くに江戸川があり、散歩したり遊んだりするにはちょうど



朝ごはん



保育園での様子

良い保育園です。替えのオムツや洋服を持ち込み、その日の体調などを記した連絡帳を園に提出して、晴仁とはそこでお別れ。初日は、別れ際に泣きじゃくられて後ろ髪を引かれながら会社に向かいましたが、最近は笑顔でバイバイです。

世間では待機児童が問題となっていますが、我々も保育園探しにはかなり苦労しました。現在住んでいる市川市は全国でも待機児童が多いことで有名です。徒歩圏で行ける保育園へ手当たり次第に見学に行き、良いなと思った園に申し込みをしていましたが、どこも10人～20人待ちでした。あまりにも見つからないので隣の船橋市にまで探しに行きましたが、なかなか良いと思える保育園がなく、妻の育児休暇を延長せざるをえないだろうと思っていましたが、今年の1月に突然入園可能ですという連絡をもらい、今の保育園に決まりました。入園の連絡をもらったときは、志望校に合格したような気分になり、夫婦で大はしゃぎしたのを覚えています。

8時には駅に向かい、夫婦ともに会社へ向かいます。9時ぎりぎりに会社へ滑り込み、そこからは仕事を頑張ります。不安なのは、保育園からの電話です。保育園では定期的に体温を測ってもらっており、38度を超えると妻に電話が来て、「迎えにきてください」となります。幸い義両親が保育園近くに住んでいるので迎えに行ってもらったりして対応していますが、妻が早退して迎えに行くこともしばしば。最近ようやく晴仁も強くなってきたのか、熱を出すことは少なくなってきました。次はお迎えです。時短で働いている妻が5時半ころ保育園に迎えにいきます。私も極力早く帰って、晴仁をお風呂に入れて、何とか9時前には寝かしつけて一日が終わりです。

保育園では、お散歩やプールに連れて行っても

らったり、読み聞かせがあり、お昼寝したりと、のびのびとアットホームに過ごせているようです。その日一日晴仁がどう過ごしていたのかは、保育士さんが連絡帳に記入する一言メモでわかります。このメモがなかなか面白くて、毎回笑えます。「晴仁君は食欲がすごくて、となりのお友達のご飯も横取りしていました」「晴仁君は水も怖がらず、大はしゃぎで水遊びをしました」「晴仁君は、ボランティアで来ていた女子大生にくっついて離れませんでした」などなど。時々、お友達に噛まれたりしてケガして帰ってきますが、それもまた良い学びと思っております。

保育園に通いだしてもうすぐ半年になります。家ではどうしても過保護に育ててしまう傾向ですが、保育園ではみな平等に扱われるし、色々な体験もさせてくれるので、大変素晴らしい環境と思います。仕事と子育ての両立、夫婦間の負担の差の問題等(私の少ない出張時は全て妻に任せきりです)ありますが、夫婦で楽しみながら子育てすることが、晴仁が明るく素直な男の子に育っていくことに繋がると願っております。以上、最後までお読みいただき有難うございました。



水遊び大好き